

「高校生のための学びの基礎診断」への申請について

2022年 12月 15日

①事業者名	株式会社ベネッセコーポレーション					
②測定ツール名	ベネッセ総合学力テスト					
③主な対象者	主に、四年制大学・短期大学等への進学をめざす高校1年生・2年生					
④対象教科	国語	数学	英語	⑤測定内容の区分	基本タイプ	標準タイプ
	○	○	○			○
⑥申請する測定ツールの目的・概要	<p>【目的・概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語・数学・英語各教科についての、学校の授業内容の定着度把握を目的として、学校の履修進度にそった出題をしています。これにより、履修内容に合った学力の定着度確認と苦手分野の把握を客観的に行います。 ・各教科とも、記述式問題により「知識・技能」から「思考力・判断力・表現力」まで幅広い学力の測定が可能です。 ・紙媒体とWebサービスを複合的に利用することができ、生徒一人ひとりが目標設定～自己採点～結果の振り返り・事後学習のプロセスを自発的に取り組める仕組みとなっています。 					
⑦申請する測定ツールの特長・活用例等	<p>【特長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業進度にあった弁別性の高い問題で、学力測定指標「学習到達ゾーン(GTZ)」を利用して教科学力を的確に把握することができます。また、学校生活や学習面に関するアンケートを実施し、その変化とともに学力の変化をご確認いただけます。 ・生徒が自身の力で事前の目標設定～受検直後の自己採点～結果返却後の振り返りと事後学習に取り組める仕掛けを、紙媒体およびWebサービス(無料)の組み合わせで用意しています。 ・先生向けに、受検後の教師用資料として学年視点での概況データ、教科視点での分野別データ等をご提供します。Webサービス(無料)として、先生が生徒の各時点での取り組み状況を確認可能ですので、総合的に事後の指導改善にお役立ていただけます。 <p>【活用例】</p> <p>1年生7月に実施し、高校1年生の1学期段階での「教科学力」の初期把握を行うことで、その結果を2学期以降の学年の指導計画に反映します。1年生11月・1月に継続的に受検することで学年全体・生徒一人ひとりの学力変化を把握し、学年集会や個人面談の際などに生徒の自発的な学習意欲を喚起することが可能です。</p>					
⑧実施期間、年間実施回数	<p>【実施期間】1年生7月・11月・1月、2年生7月・11月・1月 の計6回 各回とも統一実施日を設け、その前後1週間程度を実施可能期間として設定</p> <p>【お申込み時期】各回とも統一実施日の15～20日前に「申込締切日」を設定</p>					
⑨実施方式(CBT/PBT)	PBTのみ					
⑩試験時間(分)	国語		数学		英語	
	<1年生> 7月：60分 11月：80分 1月：80分 <2年生> 7月：80分 11月：80分 1月：90分		<1年生> 7月：80分 11月：100分 1月：100分 <2年生> 7月：100分 11月：100分 1月：120分		<1年生>リスニング・リーディング・ライティング 7月：60分 11月：80分 1月：80分 <2年生>リスニング・リーディング・ライティング 7月：80分 11月：80分 1月：90分 ※学校採点のスピーキング問題：5分	
⑪受検料	<1年生> 全回：3,000円 <2年生> 7月：3,100円 11・1月：3,300円 ※すべて消費税等込					
⑫標準返却期間	答案到着後約4～5週間で返却。					
⑬URL(事業者のHPにおける測定ツール紹介)	http://www.bhso.ne.jp ※教員専用URL					